



第3章 協働の担い手の現状と課題

協働のまちづくりが豊明市の人々の暮らしやまちをよくする成果をおさめていくためには、各々の主体が地域とのコミュニケーションを大切にしながら、活発な活動と責任ある運営を心がけることが基盤になります。その中でも、区・町内会等の地縁団体とNPO等の市民活動団体は、身近で主要な協働の担い手です。これらの団体の現状と、協働の担い手として期待される今後の姿を描いてみます。

1 区・町内会

(1) 区・町内会の現状と課題

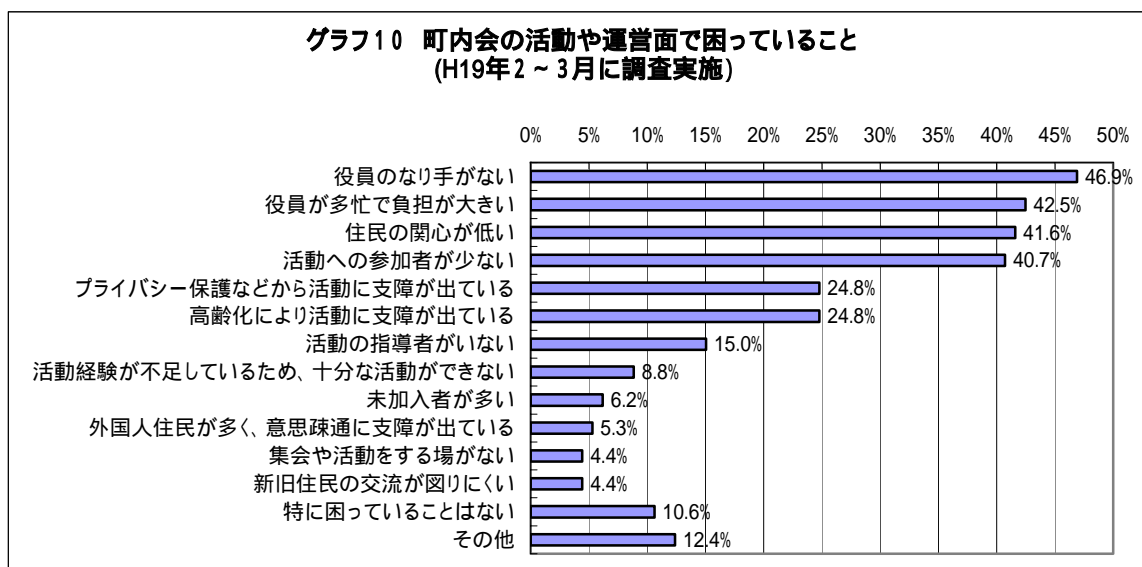
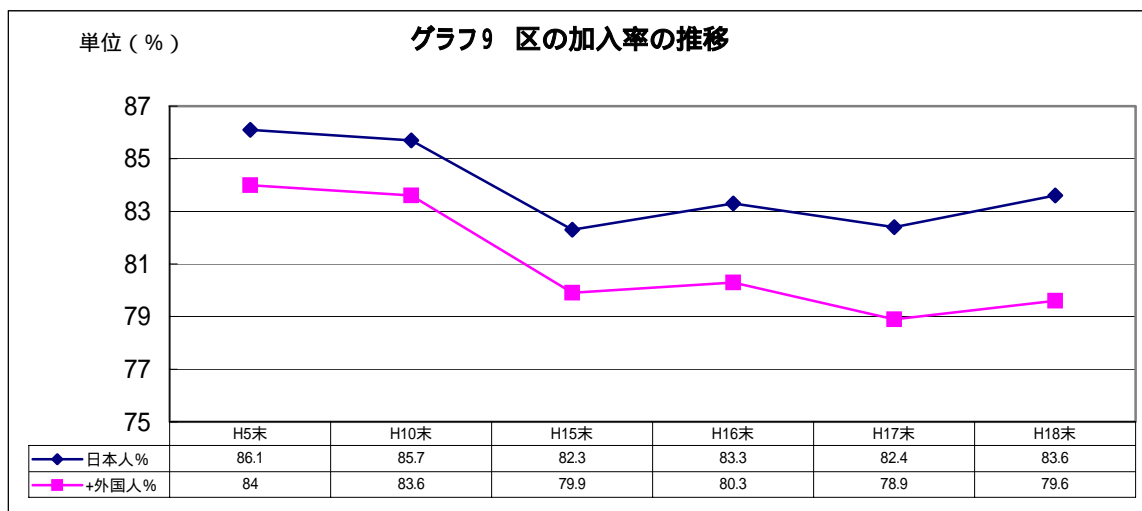
区や町内会は、お互いを思いやり、声をかけあい、助け合うことができるまちづくりの基礎となる、豊明市の貴重な宝です。心豊かで安心して暮らせる生活環境を築くための基本的な組織であり、協働のまちづくりを進める上でも、最も大切な組織です。

しかし今日では、都市化や人々の価値観の多様化等により、自治意識や地域の連帯感が薄くなり、地縁組織への未加入、古くからの住民と新しい住民のあつれき等の問題も生まれてきました。

加入率の低下と一部役員への負担

現在、市内には26の区と124の町内会があり、地域の努力によって組織的に運営されています。区や町内会は行政と市民をつなぐパイプ役の役割を果たす一方で、さまざまな団体と協力し、防犯、防災、福祉、環境問題等に自主的に取り組んでいます。

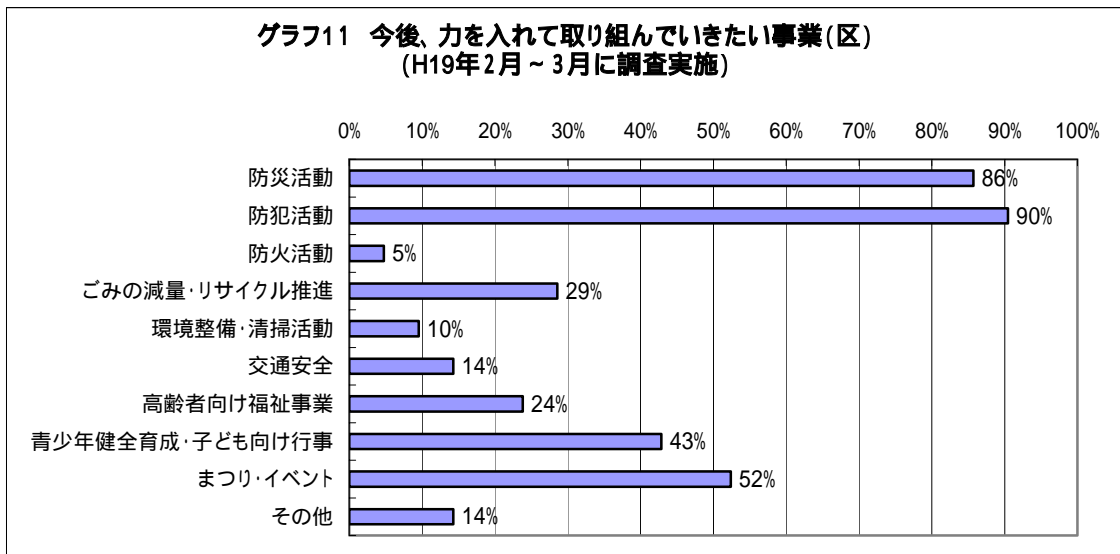
しかし、地域の連帯意識が希薄になりつつある中、町内会の加入率は低下しており、行事への参加者の固定化、高齢化も進んでいます。そのため責任や負担が一部の人に集中してしまう等の課題を抱えています。



防犯・防災活動等の核になることへの期待

その一方で、近年、防犯や防災等へ市民の不安・関心が高まり、これらを身近な地域で解決したいという思いが強くなってきました。区・町内会側でも「防犯活動」や「防災活動」は今後力を入れて取り組んでいきたい項目の上位に挙げています。

区・町内会が、こうした地域の課題に取り組み、「自分たちのまちは自分たちでつくる」動きの核になっていくために、住民がいっそう積極的に参加していくことが必要です。そのためには、区・町内会が住民にわかりやすく情報を伝え、住民のニーズに合わせた活動を行う等運営上の工夫・改善が課題になりますが、住民側も地域のことに関心を持ち、区・町内会の活動に責任を持って参加していくことが求められます。



(2) 協働のまちづくりにおける区・町内会のあり方

今後、区・町内会には、住民の地域への関心や心通う交流を取り戻しながら、住民の力を活かした地域の課題解決のための活動を活発化し、地域自治を確立していくことが期待されています。

住民の役割 みんなで支え参加する自治組織へ

ごみの分別収集のルールを守ること、地域の清掃への参加、災害時の助けあい等は、わたしたちが地域で生活していく上で不可欠なことです。一定の空間を住みよい地域にするためには、そこに暮らす人たちみんなが住民としての自覚と責任を持って、行動することが必要です。

その具体的な行動が、区や町内会が地域づくりに貢献している役割を認識し、それに加入することです。これは、自分たちの地域を自分たちでつくる地域自治を実現するための権利とも言えるもので、それゆえ全戸加入が求められるところです。

また、一人ひとりが日常的な近所づきあいや、盆踊りやお祭りなどに楽しみながら主体的に参加することが積み重なることで、地縁組織の元となる地域の絆や人間関係が育まれます。

区・町内会のこれからの運営と役割

ア だれもが参加しやすい運営を行う

市民一人ひとりがコミュニティへの参加を通じて、主体的・自立的に地域づくりに参画していくことで、市民の協働意識は醸成されていきます。しかしながら、地域活動やボランティア活動などに興味や関心がないことからコミュニティへ参加しない人も多くいます。そのような人達でも、いきいき・ワクワクするような祭りなどのイベントであれば気軽に参加でき、参加することで人と人との輪が広がり、それがコミュニティへ参加するきっかけにもつながっていきます。

また、一部の役員だけが大変な思いをするのではなく、住民みんなが主役になって取り組めるような運営にしていくことが重要です。女性や若い世代の新しい発想、シニア層のゆたかな人生経験など、多様な住民の力が発揮できる機会を設け、また、多くの住民の意見を取り入れていく必要があります。「女性団体や子ども会との関係を上手く活かす」「役員の構成を見直す」、「ワークショップ等新しい議論の方法を検討する」、「恒例の事業に新しいアイデアを持ち込む」等、世代や考え方が異なる住民と一緒に考え、交流し、協力して活動に取り組む機会をつくることを通して、だれもが参加しやすい、開かれた運営を心がけていくことが求められます。

イ 自分たちで問題解決に取り組む基盤になる

区・町内会はこれまで、住民同士の交流から住民の生活を助け合う活動等、さまざまな役割を担ってきました。そうした総合的な役割は保持しながらも、今後は、地域の課題を自分たちで解決し、決定していく役割がますます期待されるようになります。そうした新しい役割を、役員も住民も意識していくことが重要です。

高齢者の暮らしの支えあい、青少年の問題、防犯・防災等、地域で課題になっていることについてどう克服するかを話し合い、みんなが協力して取り組む活動を充実することで、自分たちの地域を自分たちでつくる自治の力を高めていくことが可能になります。

ウ 市民活動団体との連携で問題解決力を高める

高齢者問題にしても、隣人の支えあいだけでなく、身体介助の仕方等専門知識が必要な場合もあります。NPO等市民活動団体は、特定の社会的テーマに取り組むために市民が集まった組織であり、専門性・先駆性・柔軟性といった特性があるため、地域だけでは解決が難しい部分を補い、連携することで問題解決力を高めることができます。

現状では、市民活動団体の活動は区・町内会にあまり知られていない場合もあり、また活動のスタイル等が異なる点もありますが、地域の課題を市民が参加して解決しようという点で目的を共有することができます。お互いが情報発信と収集に努め、一緒に何ができるか考える姿勢を持つことが重要になります。

2 NPO等市民活動団体

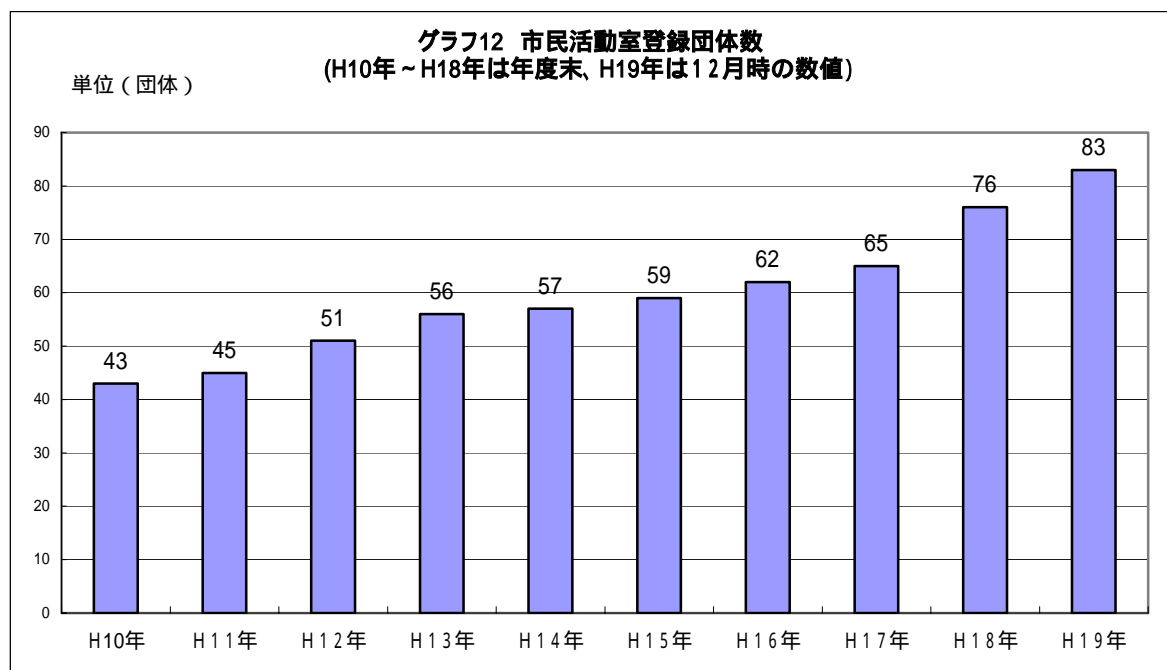
(1) NPO等市民活動団体の現状と課題

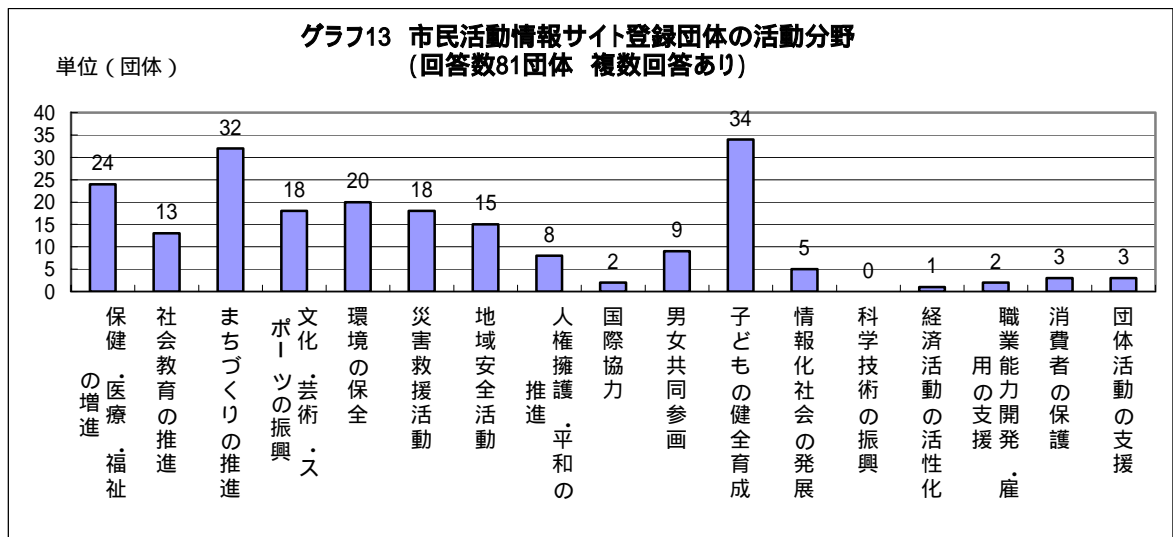
「特定のテーマに取り組もう」という自発性から生まれるために、NPO等市民活動団体は専門性・先駆性・柔軟性を備えています。新しい社会的課題を発掘したり、多様なニーズにあったサービスを生み出す力は、今後のまちづくりに大切な存在です。また、これらの活動は受ける市民に喜びと、担う市民に生きがい・やりがいをもたらします。

しかし、運営基盤が脆弱な団体も多く、より責任と社会貢献を備えたまちづくり活動へと発展することが望まれています。

さまざまな分野で活動する団体の増加

市内には、市民が参加し非営利の活動をする団体が数多く存在していますが、その中で、市民活動室に登録しているNPO法人やボランティア団体等が83団体あります。広域的で全市レベルな範囲で活動する団体が多く、福祉、子育て・青少年健全育成、環境、文化・スポーツ、まちづくり、環境等、さまざまな分野で活躍しています。



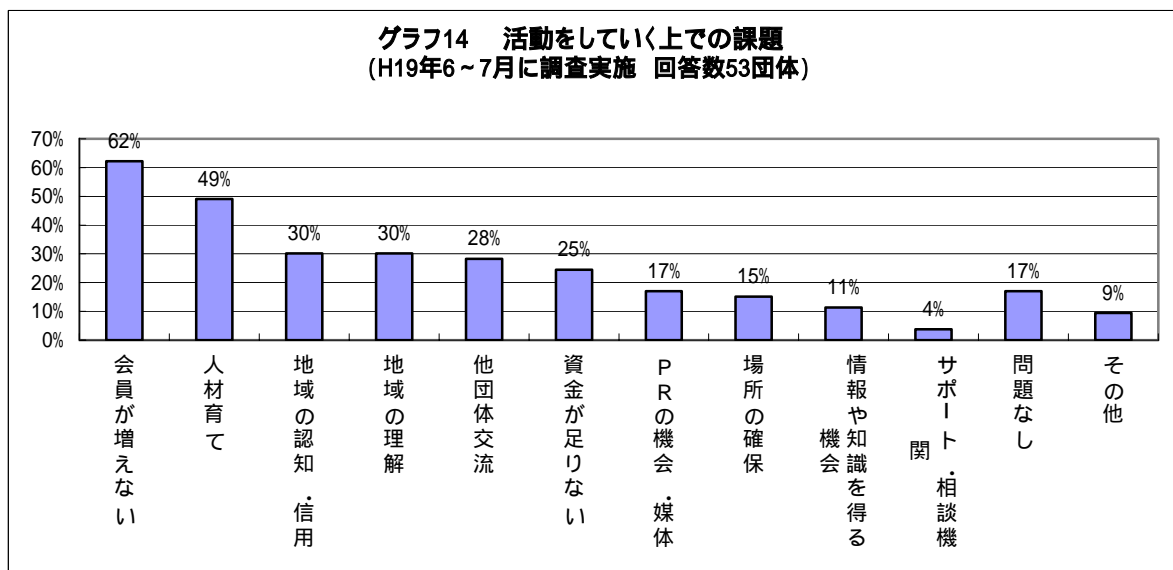


地域への理解や活動の広がりが課題

しかし、活動をしていく上での課題として、「会員獲得」「人材育て」「地域への認知・理解・信用」等が挙がり、活動がなかなか周知されず、仲間が増えていかない・・・といった状況の団体が多いのも現状です。

従って、理解・周知を促すためのPRや、人材発掘・人材育てのための研修機会の提供について、行政の支援を期待する声も多くあがっています。

また、行政に提案する機会、行政情報を提供してほしい等、まちづくりの課題について行政と意見交換したいという意欲もうかがえます。



(2) 協働のまちづくりにおけるNPO等市民活動団体のあり方

今後、NPO等市民活動団体には、市民が自発的に地域の課題に気づき解決に取りくむ活動として、地域の理解・市民の参加・組織同士のネットワークがより広がることで、公共性が高まり、創造的なまちづくり活動に発展していくことが期待されています。

市民の役割： 自分の関心を活かし、イキイキと行動する

市民活動団体は、ボランティア活動や寄付等、市民が自発的に提供する労力や協力を支えられて活動しています。参加する市民にとっても、日々感じている課題の解決方法を考えたり、自分の関心・特技を活かして活動する等、自分らしさを活かしつつ、社会に貢献する場になります。

従って、社会的な課題に関心を持ち、柔軟で多様な解決方法を考え、よころび・やりがいを感じながら自ら取り組む市民が増えることが重要で、その結果、豊明市がイキイキした市民活動がたくさん行われるまちになることを目指していきます。

既に地域にある活動に参加する人の輪が広がると共に、自分が関心を持ったテーマについて新たに仲間を募って活動を始める人々が増えることも期待されています。特に、定年後の人生をより充実させたいと思うシニア世代の活躍が大いに求められています。

市民活動団体のこれからの運営と役割

ア 積極的な情報発信で市民・地域を巻き込む

社会的課題の存在や活動目的への理解、事業の参加、寄付等協力の呼びかけ等、わかりやすく情報を発信することが、より多くの市民の参加を促進する鍵になります。現場は現在の活動に追われがちですが、日々の実践と共に、なぜこの活動が必要なのか、どんな協力が必要か、どんな成果を収めているか等を地域に積極的に発信し、市民の参加を促進し、地域を巻き込んでいくことは、協働のまちづくりにとても重要です。

イ ネットワークを活かし活動を広げる

社会的課題を解決していくためには、一つの団体では限界もあります。同じような活動をしている団体同士が学びあったり、「子ども」+「環境学習」等異なる分野の組み合わせで活動に新しい魅力が加わったり、商店街・大学・企業等の組織と協力することで必要な資源や技術を獲得する等、各々が持つネットワークを活かすことで、活動の質や広がりを向上させることができます。

ウ 地縁団体と協働し、地域の力を集める

市民の生活は、24 時間 365 日続くもので、市民活動団体だけでは一人ひとりの生活やニーズを支えることは難しく、地域のさまざまな協力が不可欠です。地域ニーズを把握したり、地域のさまざまな住民の力を結集することで、市民活動団体が目指している社会的目的をよりよく実現することが可能になります。そのためには住民から信頼の厚い区・町内会等地縁組織との協働は大切です。市民活動団体と地縁団体は、まだあまり接点ができていませんが、地域の活動に参加すること等に始まり、協力しあえるような信頼関係をつくっていくことが重要です。

(3) いろいろな協働の担い手

地縁団体、市民活動団体以外にも、豊明市には、企業、商店街、大学・学校、公益法人、医療保健機関等、さまざまな組織が豊明市のまちづくりを支えています。

これまでも、各々が経済活動、教育活動、医療行為等の組織使命を通して地域社会に貢献してきましたが、今後は、まちを構成する一員としての責任を意識し、より地域との関わりを深め、地域と協力しながらまちづくりに貢献することが求められます。

「構成員のボランティア活動の促進」「専門・技術等を通したまちづくり活動への支援」「施設・物品等のまちづくり活動への活用」等、各々が持てる資源を出し合い活かすことが、豊明市のまちの魅力を豊かにする基盤になっていくのです。

3 協働によって目指すもの

協働によるまちづくりが盛んになることで、一人ひとりの市民、みんなに関わるサービスや課題への取り組み、地域社会の姿が、次のように変わっていくことを目指します。

(1) 進んで地域のことを考え、助けあい、行動する市民が育つ

自分や身近な人々がしあわせに暮らせるような地域になるように、日常生活で思いやりやたすけあう気持ちを大切にしたり、区や町内会活動、市民活動に参加する市民が増えていくことが望まれます。地域づくりに自分が参加することでやりがい・充実感を感じ、活動を通して地域の人々との交流やつながりが生まれ、自ら進んで問題解決していく意欲や能力が育っていくことが期待されます。



地域の安全を守る～防犯パトロール～

地域の安全を守るために、住民で子どもの下校時や夜間に自発的に防犯パトロールを行う地域が増えています。パトロールは直接防犯に結びつくのに加え、住民同士が顔をあわせあいさつする関係が生まれ、犯罪が生まれにくい土壌を生み出します。また、勤め先を退職した世代にも、身近で地域に貢献できる機会も提供します。

(2) 市民の視点に立った公共サービスが地域に生まれる

さまざまな組織が特性を活かして公共サービスを担っていくことで、人々の個性や多様な価値観を尊重した柔軟で多様なサービスが市内に生まれ、市民生活の満足度が高まります。また、少数者のニーズ、新しい社会的課題を発見し、すばやく取り組んだり、当事者・関係者と一緒にその解決策を考え、利用者の立場に立った効果的なサービスを地域に生み出していきます。



暮らしの「あったらしいな」を市民が支える

制度外の福祉サービスとして、高齢世帯の庭そうじや買物等の家事を代行する活動や、近所に高齢者や子育て中の親子も一緒に集えるサロンをつくる動きも生まれています。こうした活動は、生活にうるおいをもたらしたり、高齢者が子ども伝承遊びを教える等の役割を生み出すなど、人々の満足に結びつく特色を持っています。

(3) **力を出し合い、個性と活力あるまちになる**

地域のことをよく知っている市民が主役になって考え、さまざまな組織や行政が持つ力を出し合うことで、個性と活力にあふれたまちづくりをしていくことができます。また、自分たちのまちは自分たちで作るという実体験が積み重なっていくことで、豊明を自分のふるさととして大切に思う愛着心が育まれていきます。



まつりづくりは人づくり

一時停滞した地域のお祭りが復活し、元気に盛り上がったという例も存在します。住民が傍観・受身の姿勢ではなく、手づくりの衣装を作ったり、中学生が一屋台を仕切ったり、園芸植物を展示・販売するコーナーを設ける等、「自分たちがやりたいことができる」と感じる場面を増やしていければ、愛着と活気が生まれてきます。